

## 歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

平成 30 年 10 月 12 日

独立行政法人水資源機構

一庫ダム管理所長 後藤 浩一

### 1. 目的

この歩掛参考見積の募集は、一庫ダム管理事業で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

### 2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における平成 29・30 年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成 6 年 5 月 31 日付け 6 経契第 443 号）に基づき、淀川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

### 3. 参考見積書の提出等

参考見積書は次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は作業項目毎に必要な技術者、資機材の人数等を記載して提出してください。

なお、参考見積書の様式は別紙「参考見積書 様式」を参考に作成してください。

- (2) 提出期間 平成 30 年 10 月 23 日(火)から平成 30 年 10 月 30 日(火)まで。  
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、9 時から 17 時まで。

- (3) 提出先

独立行政法人水資源機構 一庫ダム管理所長 後藤 浩一 宛

【担当】 本田（審査係）

〒 6 6 6 - 0 1 5 3 兵庫県川西市一庫字唐松 4 - 1

独立行政法人水資源機構一庫ダム管理所

TEL : 0 7 2 - 7 9 4 - 6 6 7 1 FAX : 0 7 2 - 7 9 4 - 0 5 9 0

#### (4) 提出方法

書面は持参、郵送又はFAX（社印があること）により提出するものとします。

### 4. 参考見積内容

#### (1) 業務基本条件及び業務作業項目、作業内容

別紙「見積仕様書」のとおりとします。

#### (2) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（調査等編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。

② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、別紙「見積仕様書」の業務内容を実施するために必要な技術者、資機材の人数等を徴取します。

#### (3) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「平成30年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

### 5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

#### (1) 提出期間：平成30年10月15日(月)から平成30年10月19日(金)まで。

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、9時から17時まで。

#### (2) 提出場所：3.(3)に同じ。

#### (3) 提出方法：3.(4)に同じ。

### 6. 質問に対する回答

質問に対する回答は、次のとおり閲覧に供します。

#### (1) 閲覧期間：平成30年10月23日(火)から平成30年10月30日(火)まで。

#### (2) 閲覧方法：一庫ダム管理所ホームページに掲載します。

### 7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

### 8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

## 見積仕様書

今回依頼する見積内容は次のとおりです。

### 1. 業務目的

本業務は、一庫ダムで実施する下流河川環境改善に向けた取り組み（土砂還元及びフラッシュ放流）について、効果検証のための基礎資料を得ることを目的として実施するものである。

### 2. 業務予定工期

平成30年12月～平成31年3月

### 3. 業務内容

#### 3-1 計画準備（見積対象）

受注者は、業務全般を把握し調査内容の要点を整理・確認のうえ、業務計画書を作成するものとする。

#### 3-2 現地踏査（見積対象）

受注者は、現地調査に先立ち、ダム直下から猪名川本川までの約4.8km区間を踏査し、河床・河川敷の河床構成材の分布状況及び河川内の植生分布状況について、調査・記録を行うものとする。

#### 3-3 現地調査

##### 1. 調査地点

調査地点は、「調査位置図」のとおりとする。

##### 2. 調査内容

###### (1) 表層河床材料調査（見積対象）

受注者は、表層河床材料の粒径測定を行い、粒径加積曲線を作成するものとする。調査は、原則として1地点につき3箇所（流心及び左右岸）とする。

なお、サンプリング方法は面積格子法によるものとし、1箇所につき100個の試料データを収集するものとする。

###### (2) 水準測量（見積対象外）

受注者は、「調査位置図」に示す河川横断測量実施測線に設置されている基準杭について、4級水準測量を行うものとする。

###### (3) 河川横断測量（見積対象外）

受注者は、「調査位置図」に示す測線において、河川横断測量を実施するものとする。

**3-4 調査結果とりまとめ（見積対象）**

受注者は、現地調査に基づき得られた調査結果および既存資料を用いて、ダム下流河川における還元土砂の流下状況及び河床の変動状況等について整理・とりまとめ・考察を行うものとする。

**3-5 報告書作成（見積対象）**

受注者は、現地調査結果及び考察等を取りまとめ、報告書を作成するものとする。  
なお、報告書には概要版も含めるものとする。



## 歩掛参考見積書（様式）

件名：一庫ダム下流河川河床変動調査（仮称）

単位：人

項 目	単位	数量	平成30年度 設計業務委託等技術者単価による技術者区分						備 考
			理事・技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	
計画準備	式	1							
現地踏査	式	1							
表層河床材料調査	箇所	1							
調査結果とりまとめ	式	1							
報告書作成	式	1							